

えでぴあ

立川と語ろう 立川に生きよう

July 2016

Écoutez Bien Vol.34 No.380

7

立川立飛場所はこちら楽しむ!

表紙の人／松島商店三代(富士見町)



サンサンロードが短くなった？

新たな立川の顔

それが都市軸沿道地区

立川市景観形成ガイドラインを見ると、都市軸沿道地区の景観形成の目標は「新たな立川の顔となる象徴的な景観づくり」ということになっている。イベントが行われるたび、すでに大変な賑わいをみせるサンサンロード。一部にはヤギのパフォーマンスのおかげとの説もあるが、順調に「立川の新たな顔」になりつつあると言える。

ただ広い野っ原だったところにIKEAができた。回遊、回遊と言うけれど、緑川通りを越えて高島屋へ行くのも遠いと言われていたのに、あんな方まで人を回遊させるのは至難の業だと思われていた。損保ジャパンの建物を越えるとその先はただ黙って歩くしかなかった。立飛みどり地区の南北は400mあるそうだが、ヤギが来てみると不思議なもので、そんな距離を歩いた気がしない。ヤギを追いかけ追いかけて、いつのまにか歩かされてしまうのだ。

5月1日、損保ジャパンの北側に壽屋新社屋がオープンした。もともと立川の老舗で1953年から曙町の銀座通りで玩具店を営んでいた。貨物引き込み線の大火で沿線店舗が焼けた時に壽屋も焼けてしまい、その跡に第一デパートが建設された昭和42年から入店。皆のよく知る「フィギュアのコトブキヤ」へと成長していくこととなる。新社屋オープンの日、もちろん長い行列ができた。あのコトブキヤが立川へ帰ってくる日をファンはどんなに待ち望んでいただろう。

本店店長によれば、新社屋にある本店は懐古ではなく「未来に向かう」がコンセプト。なるほど周囲の街並みと調和したオシャレな外観になっている。建物の上の方にある「KOTOBUKIYA」という緑の文字がなかったら、コトブキヤとはわからないかもしれない。

さて、そう思ってサンサンロードを眺めてみると、IKEAがものすごく近く感じてくる。長さも短く、幅も狭くなったような気が。損保ジャパンとコトブキヤ社屋との間にある細い小道をご存知だろうか。実は以前からここにはファールアートがいくつもあった。惜しいことになかなか人の目に触れなかったのだが、すっかりアートな小道に変身した。立川の新しい顔は、広さを活かした解放感、そして秩序ある統一感。そういうことになるのだろうか。



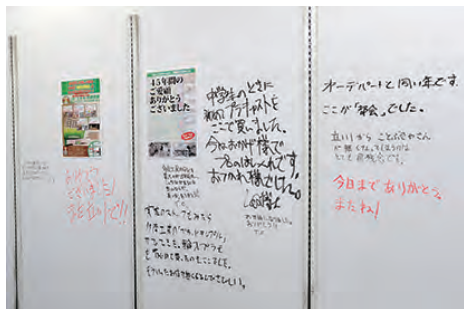
2016年5月撮影



2008年5月撮影



新社屋にあるコトブキヤ本店



第一デパート店閉店の時のボード



コトブキヤ新社屋



コトブキヤ新社屋1階のカフェ



第一デパートにあったコトブキヤ

巡業の楽しみ方

待ち遠しいな、立川立飛場所

本場所とはちょっと違う巡業を、
相撲協会広報部の高崎親方に解説してもらった。

——まもなく名古屋場所、同時に9月の東京場所の前売りも始まるという中での大相撲夏巡業立川立飛場所の話です。屋外ですわね。

高崎 大変ですよ。外ですから。風雨という場合もありますから、準備が大変です。運次第ということもありますが、昔はそれでやっていたんですからね。

——立川では37年前も野外の土俵だったとかがっています。体育館と外とはそんなに違うんですか？

高崎 全然違いますよ(笑)。でも、どうかな。今のお相撲さんは体育館しか知らないですから、解放感があって喜ぶかもしれないし、お客さんも「昔の巡業はこうだったんだ!」って、タイムスリップしたみたいになるかもしれない。ただ夏なのでね、暑さがどうかと思ったのですが。勧進元さんがテントを張るなど改善されているようですし、何よりも子どもさんたちを呼びたいという勧進元さんのお考えで、夏休みになりました。暑いけれどお祭りみたいな雰囲気でお客さんが盛り上がると力士も張り切ります。

——何時から観ることができるのですか？

高崎 本来は巡業は力士の稽古する場ですから、朝7時くらいから、下の者から順番に稽古が始まり、8時から公開稽古です。本場所は取組^{しよつきり}しか見られないでしょう？稽古、相撲甚句、初切など織り交ぜながら1日興行するという、昔の人は巡業というシステムをよく考えましたよね。

——4月の町田場所はすぐチケットが売り切れたとか。町田は来年もおっしゃっていました。

高崎 はい、町田はもう毎年やるみたいですね。

——それは出身力士がいるから？

高崎 いや、イベントとして「相撲」はいいということなんでしょうね。いろいろなイベントがありますが、「相撲」は老若男女幅広く楽しんでいただけてところに意義を感じる方が多いようです。

——町田場所ではお相撲さんがサービス精神旺盛でとても身近でした。

高崎 あれが巡業の良さです。本場所はどうしても選手と観客とを分ける。やっぱり勝負のスポーツなのでそうなるのですが、巡業はどちらかというに触れあいというかお祭りのような雰囲気です。チャンスが巡ってきて、お相撲さん本人がよければ、握手したり話ができる。協会からやれとかやるんとか、そういうものではないんです。

——とてもフレンドリーでした。

高崎 この度の熊本の地震に際しても、力士の方から何かしたいという意見が出る。昔だったらそういうことは考えず稽古しろっていう雰囲気がありましたが、最近の力士はボランティア精神とファンサービス旺盛で偉いと思います。

——でも巡業って、いろいろ簡単にはいかないこともあると耳にしました。宿の手配や食事、移動手段とか。

高崎 それはやはり、300名近くの力士や裏方が毎日移動していくわけですから、簡単ではないと思います。担当する親方の仕切りの問題です。巡業というのは売興行ですから「巡業しませんか」と営業かける親方がいて、契約します。そうしたら当日までサ

ポートする先発親方というのがいます。先発する親方の段階できちんと取りまとめているわけです。そういった事を入れると準備に1年くらいかかります。すべて先発の親方の采配ひとつです。先発と言うのは10日間だったら10カ所10人の親方が担当します。それぞれ10日前に入って準備します。でも、巡業先それぞれ全部違うんで、これが正解というのはありません。その親方がいいといたらそれがルールになる。昨日はこうだったのに、今日はちがうじゃないかということはない。でもそれが通じる世界なんですわね。

——なるほど。勧進元の立飛さんは、春巡業を視察に行かれてきめ細かく準備されているようです。

高崎 いやあ、見ない方がいいですよ(笑)。巡業先ごとに全部違うし、なかなか1回じゃうまくいかないんだから。立川に関しては、僕らはシンプルにしたかったんですよ、夏だし、外だから。でも立飛さんがどんどん慎重になってきて(笑)。負担をかけないで、その場にあるもので対応するのが基本だと思っていたのですが。すごいなあと思ってね。それだけお客さんに喜んで欲しいんですよ(笑)。

——そうですね。

高崎 イベントごとにはなんでも、1回目より2回目、2回目より3回目。2020年東京五輪の時にまた巡業を考えているそうですから、そのための今回ということだね。1回でなんでもかんでも大成功っていうのはなかなか。とりあえず切符が売れるというのが1番です。切符を売るのは勧進元さんの責任です



から。

——切符は売れると思いますよ。これだけの相撲人気ですもの。

高崎 そうですかあ？でもまあ、どうかなあ、やっぱり売る努力をしないと無理ですよ。立川で相撲やるっていう空気はまだまだだと思えますよ。

——立川出身力士もいますから。幕下の浜栄光。

高崎 「江戸の横綱大関より地元の三段目」という言葉がありますから、地元出身力士は巡業に呼んだ方がいいですよ。地元密着っていうのは、相撲と甲子園くらいしかないですからね。

——本来は、東京で巡業はなさらないそうですね？

高崎 もともと年3回国技館で相撲やっていますのでね。巡業は全国津々浦々にまで行き相撲を普及させる、本場所を観られない方々に相撲を楽しんでもらうという部分が非常に大きい。両国国技館で相撲やるのになんでわざわざ立川でやるの?と思うでしょ？町田しかり川崎しかりですが、こうして相撲が盛り上がってメディアにも取り上げられてくると、本場所とは違った楽しみ、間近で触れ合うことができるということに皆さんが気付いてきて、それで巡業が人気になってきているんじゃないでしょうかね。国技館で出待ちするより巡業の方がいいって。——本当に超至近距離でビックリですよ。

高崎 そうですね。それが巡業の良さです。本来はね、治安というか防犯というか、そういうことを考えたらあまりできないんでしょうが。

——何かあったらどうするんですか。

高崎 そう思うでしょう?……何にもないんです、今まで(笑)。昔、相撲部屋だとは知らずに入った泥棒が、力士に捕まって「早く警察に連れて行ってくれ」と懇願したという話があるくらいですからね。

——(笑)ところで土俵の廻りのタマリ席のルールがあるとか？

高崎 本場所の場合、あそこは厳密にいうと売る席ではないので売っていない。維持員というのですが、相撲維持のために協会に寄付してくれた方々に、そのお返しに席を15日間渡すという席です。それも1回じゃなくて、6年間国技館に年3回来られる人ということです。東京は300席。それでも今空きはないです。東京ではその中の69人が溜会という会を作っています。歴史も古いです。——69人というのは？

高崎 双葉山の69連勝にあやかっているそうです。大阪は大阪で東西会という組織を作っています。飲食はできませんし15歳以下は座れません。詳しくは協会HPをご覧ください。

——では、あの懸賞って、中に何が入っているんですか？

高崎 現金です(笑)。3万円、残りは税金

高崎龍水氏(出羽海部屋)

元前頭 金開山。1976年生まれ。長崎県出身。1991年3月場所が初土俵。1998年7月場所に入幕。2006年5月場所引退。生涯戦歴は466勝448敗35休。幕内戦歴102勝146敗7休、十両優勝3回 幕下優勝1回。最高位前頭六枚目、現在は年寄・高崎。

です。出すのは6万円で、15日間出してくれる企業じゃないと受け付けません。巡業の場合は、2万円入っています。巡業は折半で1万円ずつ分けますが、本場所は勝った人しかもらえません。

——知れば知るほど、本場所が魅力的です。

高崎 8月の立川立飛場所で9月場所のチラシでも置いてくれるとありがたいです。巡業から本場所へという流れがいいですね。——町田場所には八王子の芸者さんも観に来られていました。

高崎 八王子! 来年は八王子で巡業しますからね。

——多摩地域もお相撲人気が高まっています。立川立飛場所、楽しみです。

高崎 当日は、どんどんお相撲さんに声をかけて、マジック持ってサインもらいまくってください。パンフレットとか座布団とか色紙とか、マジックさえ持って行けばいいじゃないですか。どうぞ楽しんでください。触れ合って、生の力士の迫力を味わってください。

前進～人生を謳歌できる社会へ～

第45回 東京ブロック大会 立川大会 TOKYOまちフェスタ

公益社団法人 日本青年会議所 関東地区 東京ブロック協議会が開催した大イベント。
5月29日(日)、素晴らしい晴天の下、明るく気持ちよく無事に開催された。

東京ブロック大会は地域持ち回りで行われる東京青年会議所のイベント。今回は15年ぶりに立川での開催となり、主管の立川青年会議所は一昨年からこの大会に向けて準備してきた。単年度制組織の弱点をはねのけて、街や人、企業とのかかわりを前年度から引き継ぎ、維持しさらに深める。青年会議所内にとどまらない、街ぐるみを巻き込んだイベントにしたいと努力を重ねて開催の日を迎えた。なんだかよくわからないままに巻き込まれた企業や最後までよくわからないまま参加した団体も、もしかしたらあったかもしれない。しかし、サンサンロード、立飛みどり地区、女性センターAIM、立飛12号棟、シネマカフェ。開催場所それぞれに特色ある催しを準備して、これだけの動きを作る情熱は、素晴らしい。

現理事長中川夕香さんは第52代。立川青年会議所始まって以来の女性理事長で、亡くなられたお父様は第20代理事長だったという生粋の立川っ子。「大好きな立川の魅力を存分に紹介したいんです」と言っていた。成果と反省を、より良い形で次代へ引き継がれますように。

〈立飛12号棟〉



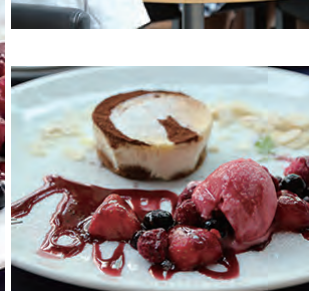
以前くたびあんてご紹介した立川駅北口の昭和38年頃のジオラマが延長された。初めてでたった1日の一般公開。



〈シネマカフェ〉



午後から、国文学研究資料館の太田先生によるサイエンスカフェ。



江戸時代に多摩地域にやってきた象さんのお話。

サイエンスカフェは、シネマカフェの美味しいドルチェ付だった。

極地研のサイエンスカフェ。
江尻先生の指導で、自分の生まれた日の地球儀を作っている。



夕刻行われた式典会場で 中央が第52代立川青年会議所理事長 中川夕香さん

メイン会場 〈立飛みどり地区〉



海上保安庁、消防署、JRなども協力



練成館の相撲や立川フラメンコ、アニメグッズや立川うど、サイエンス教室など立川ならではのブースも



〈サンサンロード 付近会場〉



サンサンロードブースのテーマは「スポーツ体験・子育て・ケータリング」

ふじようちんのポニー「はる」ちゃん

えくてびあんの輪	
えくてびあんはリストのお店にあります。 今月は 柴崎町・富士見町 のお店です。	
柴崎町	サイクルハウス 輪輸館..... 522-8100
	ひがしミート.....522-6266
	(株) 正盛堂.....522-2328
	小林歯科クリニック..... 527-8217
	ビューティーサロン ウィスタリア 527-1116
	オリオン書房 サザン店.....525-3111
	WISH BONE..... 527-7199
	三船クリニック.....523-6693
	西武信用金庫 立川南口支店 529-1311
	たましん 南口支店..... 528-2211
	リオネットセンター立川523-3321
	りそな銀行 立川支店..... 522-4161
	オリオン書房 アレア店521-2211
	ほっとすべーす 中屋.....522-2932
富士見町	立川ワシントンホテル..... 548-3380
	Coffee Shop LARGO.....525-6704
	パッケージプラザ カサイ.....522-8601
	(株) けやき出版..... 525-9909
	はじめ治療院..... 526-3519
	手づくり ぎょうざ工房..... 522-4770
	喫茶 ギャラリー花 524-3668
	髪職人 YOSHIZAWA522-5593
	の一から 512-5415
	矢沢歯科.....525-6600
	ラ・フリーズシュクレ 525-3513
	キッチンコート立川店..... 540-1131
	LaLaLa 090-2564-3198
	スープ・カフェ なんでもない日 523-5114
	武本測量 (株).....524-7731
	立川市柴崎市民体育館..... 523-5770
	NPO 法人 東京賢治の学校 523-7112
	(株) 浅見酒店.....522-2823
	伊藤接骨院.....524-7861
	手作りケーキの店 プティ・パニエ 529-8364
	さえき 西立食品館..... 529-5333
	(株) ヤマダ電機 (法人).....526-1044
	ヤマダ電機..... 526-1099
	ダイクマ 立川店..... 526-1099
	西村歯科クリニック..... 519-9501
	井上レディースクリニック.....529-0111
	中華レストラン 東華園..... 529-0458
	榎本調剤薬局..... 526-2322
	有料老人ホーム サンピナス立川 527-8866
	飯塚花店..... 522-5684
	うさぎ専門店 ラッキーラビット 524-6054
	(株) ホーミー..... 522-2220
	カフェ・貸しホール ぱくだん畑 522-2214
	Café Cuisson..... 090-6935-1227
	波多野米店..... 522-2884
	立川市社会福祉協議会..... 529-8323
	桜井電材 (株)..... 523-5281
	立川市歴史民俗資料館.....525-0860
	乙黒東洋整骨院 523-1859
	インテリア アイアイ.....522-5972
	たましん 富士見町支店..... 528-1741
	滝ノ上米店.....522-4019
	ESPOA おぎの 522-4500
	建築リフォーム (有) 日防商会 0120-263821
	(株) 立川印刷所..... 524-3268
	松栄寿司..... 524-6958

jorakugajo	
真如苑提供番組〈常楽我浄〉	
スカパー！：529ch	
スカパー！で放送の常楽我浄は スマートフォンアプリ「ivy」（無料）で視聴できます。	
J:COM 多摩：111ch	
放送時間については番組表をご確認ください。	
www.shinnyo-en.or.jp	

街の話題

水防訓練

5月22日(日)谷保の多摩川河川敷グラウンドで、東京消防庁第八消防方面・国立市・立川市・昭島市合同総合水防訓練が行われました。この水防訓練は毎年行われています。今年は国立市が主催、「東京地方に大型の台風が接近し、東京消防庁は水防第3非常配備態勢を発令した。国立市内においては、堤防が越水危険となり、道路が冠水、家屋への浸水が多数発生している」という想定での実施。立川市消防団も奇数分団が参加し、積土のう工法などいつもの消防訓練とは違う姿を見せてくれました。9時30分の開始から11時の終了まで、あらゆる訓練が間断なく進められ、中洲に取り残された人の救助や水難救助の様子、ヘリコプターによる救助など昨年の鬼怒川の氾濫が想起され、多摩川に沿う3市では他人事ではないと思わされる訓練でした。この訓練は一般の方が見学することもできるそうです。

ダ・ビンチ・サイエンス教室

サイエンスひとネットが主催する科学教室「ダ・ビンチ・サイエンス教室」の第一回が開催されました。5月14日(土)この日のテーマは「飛行機」でした。みんなで立飛ホールディングスの修復飛行機を見学。えくてびあんでも以前ご紹介したことのある飛行機創りの第一人者 四戸哲さんにいろいろなことを教わりながら、自分でグライダーを作って遊びました。次回は7月16日(土)、テーマは「宇宙・天文」。JAXAの方が講師だそうですが、この科学教室のすごいところはそこ！ 普通はなかなかお目にかかれないような専門家の講師に直接質問できちゃいます。参加ご希望の方はこちらへご連絡くださいね。090-2911-4659 (青谷さん)

立飛 HD の社員さんに迎えられて



イケア前公園でのゴスペルフィナーレの様子

高い空に竹とんぼ

5月8日(日)、朝から国営昭和記念公園は大賑わい。みんなの原っぱでは恒例の竹とんぼ大会が開かれました。子どもは竹とんぼの作り方も教えてもらえます。滞空時間、高度、飛距離などを競うものですが、入賞すると「国際竹とんぼ協会多摩本部」から表彰状がいただけます。来年あたり外国人が登場すると面白そう～。



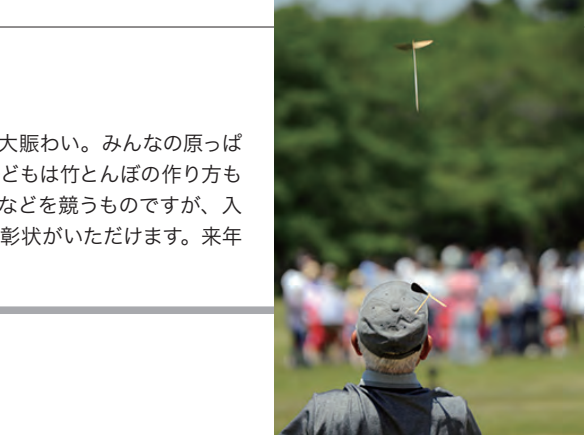
触って描いて質問して。



年齢も性別も、体型のメリハリさえも乗り越えて、衣装をつければ自分が主役。すっかり5月の立川に定着した「立川フラメンコ」。2004年から始まって13回目を迎えた今年も、圧巻はダンサー500人の舞。踊る方も観る方も、楽しいみどりの日となりました。来年は5月3日の開催予定だそうです。

TACHIKAWA いったい音楽まつり

5月21日(土)と22日(日)は、立川駅周辺、いえいえ、若葉町にも羽衣町にも幸町にも富士見町にも、立川全体が音楽で溢れる週末となりました。音楽があればひとつになれる！街行く人もリスナーです。手拍子すれば出演者。一緒に歌えばもう仲間。そんな感じのイベントでした。暑かったけど、楽しかったですね！



春の叙勲

平成28年春の叙勲で、元立川市消防団長の鈴木英次郎さんが瑞宝単光章を受章されました。長年にわたる消防団員としての功績が称えられたものだそうです。えくてびあんでも「消防団三代」という見出しで表紙のモデルになっていただきましたね。おめでとうございます！

立川落語会の発表会

えくてびあんではお馴染みの「立川落語会」。春の発表会が4月30日、アイムホールで行われました。12時半の開場ギリギリに受付へ。「えくてびあんさん、申し訳ないけれど楽屋でご覧ください」と！客席は超満員。いつのまに？いつのまにこんなにすごい落語会になっちゃった？ お客様には、先日えくてびあんでもご紹介した立川寸志さんもいらしてました。楽屋からの眺めもなかなかいいものでしたよ、ええ。30年以上やっても、みなさん緊張するんですね～。

わんぱく相撲

5月22日(日)暑い日差しの中、第28回わんぱく相撲立川場所が開催されました。300人以上のちびっこがエントリー。開会式には和太鼓「趣」の演奏、各小学校の校長先生や教育長の見守る中、立飛みどり地区にできた3つの土俵で元気に取り組が始まりました。4年生～6年生の男子の部の優勝者は、本年8月4日(木)に行われる「大相撲夏巡業立川立飛場所」で本物の力士に挑戦することができます。楽しみですね～。

立川フラメンコ

年齢も性別も、体型のメリハリさえも乗り越えて、衣装をつければ自分が主役。すっかり5月の立川に定着した「立川フラメンコ」。2004年から始まって13回目を迎えた今年も、圧巻はダンサー500人の舞。踊る方も観る方も、楽しいみどりの日となりました。来年は5月3日の開催予定だそうです。

「鉄心斎文庫」の寄贈

5月26日(木)国文学研究資料館で、総数一千点以上にのぼる伊勢物語コレクション「鉄心斎文庫」が寄贈されたことへの感謝状贈呈式が行われました。寄贈者は芦澤美佐子氏。大正13年山梨県の旧家に生まれた芦澤新二氏は早くから伊勢物語に親しみ、戦後、学生生活を送る東京で、阿波国文庫旧蔵の伊勢物語写本数点を購入。以来40年以上にわたって資料収集に没頭されます。美佐子氏とご結婚後はご夫妻で収集に熱中され、大切な資料を保存するために昭和40年には品川区のご自宅に蔵を建て「鉄心斎文庫」と命名されました。平成元年に新二氏はご逝去、美佐子氏はコレクションの拡充をはかるとともに、伊勢物語文化のすばらしさをひろく知ってもらいたいとして、平成3年小田原市に鉄心斎文庫伊勢物語文華館を設立。年2回の定期展示を20年間続けてこられました。このたび、この貴重なコレクションが国文学研究資料館に寄贈されることになりましたが、識者評価額は総額8億円余なのだとか。またひとつ、立川にすばらしい宝が増えました。



表紙の人

松島征男さん、孝さん、^{はると}大翔くん

立川で最初にガスの免許を取得したのが松島商店さんでした。征男さんのお父さんの太一さんが昭和31年に松島燃料店を設立。当時は外人ハウスのボイラーなど需要が多く、病院や警察などもお客さまでした。薪やら石炭やら、そんな燃料の時代からガスのお風呂、そして今の給湯器。世の中はすっかり変わり、立川の街にも電化の波が。征男さんもたくさんの資格をお持ちですが、孝さんはさらに多くの資格取得でこの変化の波に対応されています。電力自由化からインターネットの光サービス、お部屋のリフォーム、住宅機器、住宅関係のことなら何でもOK。とりあえず相談すれば何でも応えてくれるのだから。もちろん今まで通り燃料、炭、消火器なども扱っていますし、灯油の配達にも行かれます。タンクローリーの荷台に立つはるとくんは、大きく見えますがまだ3歳。チョコレートが大好きなんですって。

かたこと

◆今月はお店のコーナーはお休みです。そのくらい街の話題が多い月でした。お天気の良い日が続き、薫風という言葉にふさわしい清々しい風も吹いていました。「まんぱく」開催中にイベントが続き、立川を訪れる人の数は相当だったのではないかと思います。立川青年会議所の記者会見で清水市長が「TACHIKAWA いったい音楽まつりとわんぱく相撲が重なって、人の流れが怖いくらいだった」とおっしゃっていましたが、それだけ注目されている街なのですね◆「まちフェスタ」の一環だった国文学研究資料館のサイエンスカフェ。これは本当に面白かったです。将軍吉宗の時代にタイから象が多摩にやってきていたなんてご存知でした？ しかも長崎出島から徒歩で多摩までやってきた。まさに珍道中です。井の頭自然文化園のはな子が亡くなったニュースと重なって、象さんは江戸時代から人々を楽しませてくれていたのだと思いました◆江戸時代の記事。6月号に誤植がありました。須崎家内蔵の記事にあった写真キャプション中、安東太郎立川市議会文教委員会委員長のお名前を「安藤」と記してしまいました。正しくは「安東」です。訂正してお詫び申し上げます◆今夏も暑くなりそうですが、熱中症や紫外線アレルギーの対策は万全でしょうか？ 真夏の立川立飛場所。勧進元の立飛HDさんでは水柱、ミスト、扇風機の設置など暑さ対策に加えて、立川消防署のご協力もお願いしているそうです。暑さもまた自然の恵み、えくてびあんは今月も皆さまと共にがんばります。えくてびあんスタッフ一同

えくてびあん ⑨

7月号 第34巻 通巻380号

平成28年7月1日発行
発行 有限会社えくてびあん
〒190-0023
東京都立川市柴崎町2-1-10 高島ビル4F
TEL 042-528-0082 FAX 042-528-0065
E-mail message@tamatebakonet.jp
URL http://www.tamatebakonet.jp
発行人 黒須 環
企画・写真・編集 えくてびあん編集スタッフ
デザイン 池田隆男 (WATER DESIGN ASSOCIATES)
印刷 三浦印刷株式会社・DECK C.C.

無断転載を禁じます。



ジオラマ

みなさん、覚えていらっしゃるでしょうか？ えてびあんでご紹介していた「小川優さんのジオラマ」。昭和 37～8 年ごろの立川駅北口西側のジオラマです。いなげやさんの第 1 号店があったり、今は羽衣町で花門さんになっているお菓子の久寿屋さんがあったり。そのジオラマが延長されました！ 立川駅北口東側が出来上がったのです。5 月 29 日（日）「まちフェスタ」に併せ立飛 HD の復元飛行機と一緒に 1 日だけの公開となりました。この後は、西の踏切を越えていよいよ南口に入っていくそうです。めちゃくちゃ楽しみです！



中央の赤い建物が立川駅

至誠学園の『2016 ガーデンパーティー』

と〜ってもいいお天気になった 5 月 1 日（日）。錦町にある至誠学園で恒例のガーデンパーティーが賑やかに開かれました。児童福祉週間啓発事業として、子どもたちの健やかな成長を願うイベントです。学園の子どもたち、近所の子どもたち、ご家族の方や



オープニングセレモニー



楽しそう〜

支えてくださる地域、ボランティアの皆さんと美味しいもの楽しいゲームや遊びで楽しみました。なんだか年々パワーアップしているみたいなのですが、これはみんなの笑顔の“わ”が広がっているってことなのかな？

正楽院の茶筌供養

5 月 8 日（日）、羽衣町の正楽院で茶筌供養が行われました。ご住職が茶道江戸千家教授でいらっしゃる正楽院では、多くの茶を点て人々を楽しませてくれた茶筌に、毎年感謝の誠をもっておたき上げしご供養しています。この日も多くの茶友が集まれ、お経の中に茶筌が次々おたき上げされていきました。鯉のぼりにお寺の躰、和装の皆さまと芍薬の花。とても気持ちのいい時間でした。

